

(別紙)

## 平成 30 年度 事業計画

(平成 30 年 3 月 6 日理事会承認)

本県の雇用情勢は平成 26 年度後半以降から緩やかな改善傾向が続いており、平成 29 年度の有効求人倍率も 1 倍を超える高水準を維持している一方で、県内企業においては人材不足が深刻化している。

その一方で、ゼロ金利政策の影響から当財団の基金取崩が続いていること、また、県立ハローワークの開設により、I J U ターン就職の相談窓口が当財団から県立ハローワークの I J U ターン窓口に移行しつつあることから、当財団の県内外における就職・定住促進の取組について大幅な見直しが必要となっている

このことから、平成 30 年度においては、基金を財源として行っていた事業を大幅に見直すとともに、事務局の体制の見直しを行いながら、引き続き、国や鳥取県など関係機関と連携しながら、県内移住希望者への移住及び就職支援を行っていく。

### I 雇用環境の整備の推進 【予算額 83,631 千円】

県外の大学等卒業予定者及び一般の U ターン等就職希望者は、本県産業を担う貴重な人材であることから、鳥取県立ハローワークと協力して、県内企業の求人開拓を行うとともに、県外の求職者（首都圏及び関西圏を除く。）に対して県内企業の求人情報の提供及びマッチングを実施する。

#### 1 無料職業紹介の実施

##### 【事業の目的・概要】

鳥取及び米子に配置する就職コーディネーターが、鳥取県立ハローワークと協力して企業訪問等による求人情報の収集を行うとともに、人材バンクシステムに登録している求職者の就職相談に対応しながら職業紹介を行う。

##### 【平成 30 年度の事業内容等】

##### ①就職コーディネーターの配置（鳥取及び米子）

県内企業の求人情報を収集するとともに、県立ハローワークと連携しながら I J U ターン就職希望者の就職相談に対応

##### ②無料職業紹介の実施

\*人材バンクシステム登録者との就職相談を通じて、希望や適性などが合致する企業の求人に対し無料職業紹介を行う。

\*求人情報の収集の強化

\*登録済み職業紹介責任者 2 名

#### 2 「とっとり仕事・定住人材バンクシステム」、「とっとり就活ナビ」を活用した就職支援

##### 【事業の目的・概要】

「とっとり仕事・定住人材バンクシステム」及び「とっとり就活ナビ」を基幹ツールとして、鳥取県への I J U ターン就職希望者に対し県内企業の求人情報等を提供するとともに、県内企業に対し求職登録者の情報を提供し、県内企業への就職を促進する。

また、県内企業の見学会や県内で就職した先輩との交流を行うとっとり就活応援団事業等を実施することにより、学生等の県内就職の意欲向上を図る。

#### 【平成30年度の事業内容等】

##### ①バンクシステムの周知・登録促進

- \*平成28年度に改修した「とっとり仕事・定住バンクシステム」や、学生向けの「とっとり就活ナビ」の周知及び登録勧誘
- \*企業ガイダンス等の場で就職活動中の県外在住者及び県内外の大学に在学中の学生等への登録勧誘
- \*両システムの定期的なメンテナンスの実施（適宜）

##### ②提供情報等の充実

提供する求人情報の細分化やカテゴリの充実等

##### ③県外に進学した学生及び保護者に対する情報提供（鳥取県と連携）

- \*県内企業等の情報発信
- \*システムの周知及び登録勧誘
- \*大学の保護者会等での情報提供

##### ④学生等の県内就職の促進（鳥取県と連携）

- \*県内外の大学等での企業説明会及びとっとり就活サポーターとの交流会
- \*県内大学生等による企業見学会

### 3 鳥取県立ハローワークとの連携

#### 【事業の目的・概要】

移住希望者の就職相談及び大学4年生等に対する就職相談窓口が大幅に県立ハローワークに移行されることから、これまで当財団が主体となって実施していた運営体制を見直して合同開催とし、県立ハローワークに積極的に運営にかかわっていただくことにより、IJUターン者に対する就職等に関する相談体制の充実を図り、県内企業等の人材確保に資するとともに、県外からの移住定住の促進を図る。

#### 【平成30年度の事業内容等】

- ①県内外で実施する大型の就職相談会・企業説明会等における県内企業との調整、イベント実施に係る企画・運営への協力
- ②鳥取県立ハローワーク求人・求職者情報システムの保守業務（当財団が運用する「とっとり仕事・定住人材バンクシステム」と連携しているため）
- ③県内及び東京・関西の県立ハローワークの窓口と連携した、移住希望者への就職情報提供と相談体制の一層の充実

### 4 人材・求人情報の収集・管理・提供等

#### 【事業の目的・概要】

元気な県内企業を掲載した「企業ガイド」の配布及び学生等を対象とした「とっとり就活ナビ」などにより、県内外の大学等進学者や一般求職者に対し、様々な就職関連情報等を提供する。

#### 【平成30年度の事業内容等】

- ①県内外大学等に進学した県内出身の学生等に対して、就職コーディネーターが、Uターンのきっかけとなる情報の発信を強化し、Uターン就職・移住定住の促進を図る。
- ②各種就職関連情報の提供  
財団ホームページやfacebook、LINE等SNSを活用した就職関連情報の発信など
- ③企業ガイドの作成・配布  
\*企業の概要や求人情報を掲載した企業ガイドの作成・配布  
・Web版（スマートフォン含む）を財団ホームページへ公開

- ・冊子版 1,000部  
〔配布先〕県内外の大学、専門学校、県内高校、関係団体など

- ④「とっとり就活ナビ」での新卒求人情報提供
- \*掲載開始時期 平成30年3月2日
  - \*掲載目標企業数 300社（実績：H28年度139社、H29年度(2/7現在)393社）
  - \*企業自ら登録する形態に変更したため平成29年度登録数より減少する見込み

- ⑤県外大学への働きかけ
- \*県と連携した県外大学との就職協定の締結推進  
(参考) 鳥取県と連携した県外大学等との就職協定の締結状況 (H30年1月現在)

区分	包括協定	就職支援協定	
大学名 (締結時期)	明治大学 (H21..3)	★神戸学院大学 (H26.2)	
	龍谷大学 (H22.7)	★立命館大学 (H26.7)	
	★京都女子大学 (H27.6)	★武庫川女子大学・同短期大学(H26.7)	
	★京都産業大学 (H28.10)	★関西大学 (H26.11)	
	(注) ★は、定住機構とも協定を締結している学校		★同志社大学 (H27.7)
			★兵庫医療大学 (H27.10)
			★美作大学 (H28.8)
			★神戸電子専門学校 (H28.9)
			★神戸女子大学・同短期大学 (H29.1)
			★近畿大学 (H29.6)
			★大阪商業大学 (H29.6)
			★中央大学 (H29.9)
		★明治大学 (H29.10)	

- \*県内から進学している学生がいる県外の大学を訪問し県内の求人情報等を情報提供
- ・関西圏の各大学 (120校)
- ・岡山県・広島県の各大学 (岡山県24校、広島県20校)
- ・その他中四国の各大学 (10校) (H30年1月末現在)
- ※関東圏の各大学については、鳥取県東京本部職員を中心に、一部移住コーディネーターが協力して訪問・情報提供を行う予定。

## 5 事務所移転に係る業務

### 【事業の目的・概要】

組織改編及び経費の見直しの観点から、財団事務局本所の移転を行う。併せて、くらし若者仕事ぷらざの閉所に伴う諸業務を行う。

### 【平成30年度の事業内容等】

本所移転時期 (予定) 平成30年8月 (予定)  
移転先 (予定) 鳥取駅前第一生命ビル1階 (鳥取市扇町115-1)

## II とっとり移住定住支援事業の推進 【予算額 111,511千円】

鳥取県移住定住サポートセンターを拠点に、県外から鳥取県へのI J U(移住)ターン希望者の相談に対応するとともに、県内外で開催する相談会・セミナー・ツアー等への参加を通じて、鳥取県へのI J Uターンを働きかける。

### 1 県外での就職・田舎暮らし等に関する相談対応

#### 【事業の目的・概要】

県外からのI J Uターン希望者を対象に、鳥取県へのI J Uターンを促進するため、「鳥取県移住定住サポートセンター」を設置し、鳥取県での就職・移住定住・田舎暮らし等に関する相談及び情報提供をワンストップで行う。

また、就職コーディネーター及び県立ハローワークと連携して、年々増加する移住相談者に対し就職と移住が一体となった対応を行う。

#### 【平成30年度の事業内容等】

##### ①鳥取県移住定住サポートセンターの運営

- \*財団本部に移住コーディネーターを4名配置し、関係団体と連携して、県外からの移住定住に関する相談及び情報提供を行う。
- \*県内外の大学等に在学する学生等を対象とした、県内定住のきっかけとなる就職情報等の発信を強化し、Uターン就職・移住定住の促進を図る。

##### ②県外窓口の運営（東京・大阪）

- \*鳥取県関西本部に就職コーディネーターを1名配置し、関西圏の大学の就職担当部署及び主に3年生以下の学生等に対して、鳥取県の就職情報の提供を行う。
- \*鳥取県東京・関西本部に、移住コーディネーターを各2名配置(うち各1名は、ファイナンシャル・プランナー有資格者)し、移住希望者個々人に合った移住後のライフプランの提示などをはじめ、東京や大阪等において、移住定住・田舎暮らし、移住後のライフプラン等の相談に対応するとともに、各種イベントを実施する。
- \*大学等内部で実施する就職相談会、企業説明会又は、鳥取県、県内市町村、移住支援団体及び大手就職サイト等が実施する各種イベント等に参加し、鳥取県への移住や鳥取での就職に関する相談等に対応する。

##### ③ふるさと回帰支援センターとの連携強化（東京・大阪）

財団が実施する休日相談会などのイベントについて、可能な限りふるさと回帰支援センターで開催するとともに、東京センター内に県が配置している鳥取県専任相談員と連携して、移住希望者からの相談に対応する。

### 2 就職相談会・移住定住相談会等の開催

#### 【事業の目的・概要】

I J Uターン就職相談会の開催や移住定住相談会等への参加を通じ、鳥取県へのI J Uターンを積極的に働きかけていくとともに、県内企業と関西圏、首都圏及び中四国の大学等との情報交換会を開催する。

また、岡山県と連携して首都圏等からの移住希望者に対し両県を訪問するツアーや合同相談会を実施するとともに、兵庫県但馬地域と合同で相談会等を実施する。

#### 【平成30年度の事業内容等】

##### ①I J Uターン相談会（東京・大阪）の開催

首都圏・関西圏在住のI J Uターン希望者を対象に、企業による求人説明や就職・移

住定住の相談をワンストップで行う相談会を開催

- ・開催時期及び場所 [就職×移住] 10月(東京)、11月(大阪)  
[移住] 5月(東京)、6月(大阪)

#### ②企業紹介フェアの開催

主に県外から帰省中の大学3年生以下を対象に、県内企業が企業プレゼンテーション及び企業ブースごとの会社説明を行い、県内企業の魅力を紹介する。

- ・開催時期 12月
- ・場所 鳥取会場

#### ④ミニ相談会等の開催

首都圏・関西圏のIJUターン希望者に対し、市町村等関係機関や県外から鳥取県へ移住された方と合同で鳥取の魅力等を伝えるための休日相談会等を開催し、鳥取県へのIJUターンを働きかける。

- ・休日相談会(市町村等参加) 年20回開催(東京10回、大阪10回)
- ・平日出張相談会 年24回開催(大阪)
- ・ナイター相談会 年18回開催(東京12回、大阪6回)

#### ⑤就職準備ゼミ(大阪)

鳥取県へのIJUターンを検討している学生に対して、就職に早期に取り組むための準備と、Uターン就職を実際に行った現役大学生の話聞くことで就職活動に役立たせる。12月開催予定。

#### ⑥ふるさと回帰フェア(ふるさと回帰支援センター主催)などの移住定住イベントへの参加

主に首都圏や関西圏で行われる移住相談会に参加し、鳥取県の魅力等をアピールする中で鳥取県へのIJUターン(就職・移住)を働きかける。(年7回程度)

#### ⑦とっとり企業紹介フェア開催に併せた「就活バス」の運行

年末に県内で開催するとっとり企業紹介フェア開催に併せて、大阪一会場を往復する就活バスを運行し、県内に帰省する学生の取り込みを図る。

### 3 IJUターン情報の発信

#### 【事業の目的・概要】

就職及びとっとり暮らし等移住定住関連情報を発信する。

また、鳥取県への移住を検討される県外在住者への情報・サービスの提供を目的とした「とっとり移住応援メンバーズカード」を発行するとともに、協賛企業の開拓に努める。

#### 【平成30年度の事業内容等】

##### ①県外のイベント等の周知広報

インターネットや新聞広告、メール配信等を活用した広報

[PRする主な事業]

- ・BIG相談会、移住フェアなど  
＜[就職×移住] 10月(東京)11月(大阪)、[移住] 5月(東京)・6月(大阪) 開催予定＞
- ・県内就職フェア(5・8・12・3月に開催) 等

##### ②全国誌等での鳥取県PR

「いなか暮らしの本」(年6回)で、年間を通じて鳥取県の魅力をアピール

##### ③「とっとり移住応援メンバーズカード」の発行

鳥取県への移住を検討している県外在住者に対し、民間企業や市町村等と連携した「とっとり移住応援メンバーズカード」を発行し、各種サービスを提供する。

- ・登録者数: 1,162人(平成30年2月20日現在)
- ・協賛店舗数: 約1,200店見込(平成30年2月23日現在)

〔提供するサービス〕

- ・移住の事前検討に必要な情報の提供（メールマガジン、ダイレクトメール等）  
＜住まい、仕事、子育て・教育環境等の行政からの情報提供、優待商品やサービス等の情報＞
- ・移住前後に利用が見込まれる商品・サービス等の優待（民間企業の協賛）

#### 4 I J Uターンに向けた各種助成

【事業の目的・概要】

I J Uターン希望者に対する県内視察などのための交通費を助成するほか、移住希望者の新規開拓に係る民間活動推進事業や民間活動団体がネットワークを構築する経費の補助を行う。

【平成30年度の事業内容等】

- ①鳥取暮らしを体験してもらうための移住希望者のニーズに沿ったオーダーメイド型ツアーの実施（来県交通費の助成）
- ②民間活動推進事業費補助金の運用
- ③民間移住支援組織ネットワーク活動支援事業費補助金の運用

### Ⅲ 若年者地域連携事業の推進（国受託事業）【予算額 23,093千円】

若年者を取り巻く雇用環境は、未だにフリーターが多い状況にあり、早期離職率も高水準で推移している。また、求職者ニーズと求人との間に職種や雇用形態などのミスマッチの問題もある。

このため、県と労働局が設置している県内の「若者仕事ぷらざ」等において、雇用対策関連事業を推進する。

#### 1 企業説明会の開催

##### 【事業の目的・概要】

高校や大学等の新規卒業予定者に対し、県内企業が会社概要や業務内容等を説明する企業説明会を実施する。

##### 【平成30年度の事業内容等】

###### ①企業ガイダンスの開催

- ・開催時期 3月
- ・場 所 鳥取・米子各会場
- \*企業プレゼンテーションを同時開催

###### ②新規高卒求人事業所説明会（新規高卒者就職面接会）の開催

- ・開催時期 7月、10月
- ・場 所 7・10月：鳥取・倉吉・米子各会場
- \*就職活動の基本姿勢等を再確認するためのセミナー（7月）を同時開催

#### 2 雇用対策関連セミナー等の開催

##### 【事業の目的・概要】

若年求職者やフリーター等を対象に、職業意識の高揚や面接の受け方など正規雇用に向けた研修を実施する。

また、若手社員及び企業の人事管理担当者を対象に、双方の認識のずれを解消し早期離職防止など職場定着を図ることを目的とした研修を実施する。

さらに、高校生の就職内定者等を対象に、社会人としての心構えを再認識させることにより、早期離職を防止することを目的とした研修を実施する。

##### 【平成30年度の事業内容等】

###### ①土曜セミナー

- ・開 催 通年土曜日 年48回
- ・場 所 とっとり若者仕事ぷらざ及び県立米子ハローワーク
- ・対 象 一般求職者及びフリーター等

###### ②若年労働者の職場定着促進セミナー

###### 若手社員セミナー

- ・開催時期 9月
- ・場 所 鳥取・倉吉・米子各会場各2回

###### 人事管理者セミナー

- ・開催時期 10月
- ・場 所 鳥取・倉吉・米子各会場

###### ③高校生（就職内定者）のための就職セミナー

- ・開催時期 1月
- ・場 所 鳥取・倉吉・米子各会場

#### IV 鳥取県一体的実施事業の推進（国受託事業）【予算額 20,970千円】

若年求職者の県内への就職と企業の人材を確保する合同企業説明会を行う。また、新入社員の職場定着を促進し早期離職を防止するセミナー等を実施する。

##### 1 就職フェアの開催

###### 【事業の目的・概要】

大学等の新規卒業予定者、一般求職者及び卒業後未就職者に対し、多くの県内企業を知り、面談できる就職フェアを実施する。

###### 【平成30年度の事業内容等】

就職フェア

- ・開催時期 5月、8月
- ・場 所 5・8月：鳥取・倉吉・米子各会場
- ＊企業プレゼンテーションを同時開催

##### 2 職場定着セミナー等の開催

###### 【事業の目的・概要】

企業の新規採用者を対象に、早期離職防止を目的とした研修を実施する。

###### 【平成30年度の事業内容等】

社会人フォローアップセミナー（早期離職防止研修会）

- ・開催時期 7月
- ・場 所 鳥取・倉吉・米子各会場各2回



## V 法人の運営・管理 【予算額7,067千円】

### 【平成30年度の事業内容等】

#### ①評議員会の開催

決算の認定、その他重要事項の決定等（年3回程度開催）

#### ②理事会の開催

予算・事業計画、運営方針等の決定（年4回程度開催）